



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 株式会社メドレー 上場取引所 東
 コード番号 4480 URL <https://www.medley.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧口 浩平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上級執行役員 CFO (氏名) 河原 亮 (TEL) 03-6372-1265
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	10,189	25.2	631	48.1	△67	—	61	—	△62	—
2025年12月期第1四半期	8,140	36.9	426	△6.6	△121	—	5	△99.3	△75	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 △58百万円(—%) 2025年12月期第1四半期 △88百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△2.08	—
2025年12月期第1四半期	△2.34	—

(注) 1. EBITDA=(営業損益+減価償却費・のれん償却費・株式報酬費用)

2. 2026年12月期第1四半期の経常利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため「—」と記載しています。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	43,683	13,057	29.9
2025年12月期	41,252	14,799	35.9

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 13,057百万円 2025年12月期 14,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,400	26.1	5,800	20.3	2,950	37.2	3,250	47.6	1,800	84.5	58.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年12月期1Q	32,738,600株	2025年12月期	32,738,600株
② 期末自己株式数	2,692,694株	2025年12月期	1,838,986株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30,341,478株	2025年12月期1Q	32,330,659株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、人材プラットフォーム事業及び医療プラットフォーム事業双方において、医療や介護の提供体制を担う人材の不足や財源問題が継続しました。

このような事業環境のもと、当第1四半期連結累計期間における人材プラットフォーム事業の売上高は、人材採用システム「ジョブメドレー」において顧客事業所数及び従事者会員数が引き続き順調に増加したことに加え、オンライン研修システム「ジョブメドレーアカデミー」においても顧客事業所数が伸長したことにより増収となりました。医療プラットフォーム事業においても、各プロダクトの顧客への導入が堅調に推移したことにより、利用医療機関数が増加し、増収となりました。売上高が伸長する一方で、事業規模拡大に向けて人材プラットフォーム事業におけるマーケティング活動やオンライン研修システムへの成長投資、並びに医療プラットフォーム事業における組織体制の強化や「MEDLEY AI CLOUD」におけるAI機能の拡充等、中長期的な成長を見据えた取り組みを積極的に実施しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高10,189百万円（前年同四半期比25.2%増）、EBITDA631百万円（前年同四半期比48.1%増）、営業損失67百万円（前年同四半期は営業損失121百万円）、経常利益61百万円（前年同四半期は経常利益5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は62百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失75百万円）となりました。

なお、人材プラットフォーム事業においては、当社グループのサービスを利用して入職した求職者が求人事業所に入職した日付を基準として売上高を計上しているため、一般的に年度の始まりとされている4月に入職が増え、同月に売上高が偏重する傾向があります。

セグメントごとの業績を示すと、以下のとおりです。

①人材プラットフォーム事業

当第1四半期連結累計期間においては、利便性の向上に向けたサービスサイトの機能改善を継続的に実施し、人材プラットフォーム事業全体の顧客事業所数は前連結会計年度末比2.0%増の45.7万件となりました。「ジョブメドレー」における応募数は引き続き増加しており、掲載求人数についても前連結会計年度末比1.4%増の47.7万件となりました。

以上の結果、セグメント売上高は7,031百万円（前年同四半期比27.6%増）、全社共通費用配賦前のセグメント利益（営業利益）は1,709百万円（前年同四半期比28.4%増）となりました。

②医療プラットフォーム事業

当第1四半期連結累計期間においては、医療プラットフォーム事業全体の利用医療機関数は前連結会計年度に引き続き増加し、前連結会計年度末比1.2%増の2.3万件となりました。また、「MEDLEY AI CLOUD」において、医療現場における業務効率化と患者体験の向上の実現をするための各種AI機能の拡充等を実施いたしました。

以上の結果、セグメント売上高は2,891百万円（前年同四半期比26.3%増）、全社共通費用配賦前のセグメント損失（営業損失）は168百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）197百万円）となりました。

なお、当該セグメント損失（営業損失）が発生している要因としては、高い売上高成長率を実現するための取り組みを優先していること等が挙げられます。

③新規開発サービス

当第1四半期連結累計期間において、米国における人材採用システムの事業拡大に向けた投資を実施しました。また、介護施設検索サイト「みんかい」においては、コンテンツ拡充及び紹介可能施設数の拡充のための積極的な営業活動を継続的に実施しました。なお、2026年1月より「介護のほんね」は「みんかい」にブランドを統合しております。

以上の結果、セグメント売上高は266百万円（前年同四半期比22.3%減）、全社共通費用配賦前のセグメント損失（営業損失）は163百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）154百万円）となりました。

なお、当該セグメント減収が発生している要因としては、グッピーヘルスケア事業の売却による影響が挙げられ、当該セグメント損失（営業損失）が発生している要因としては、米国事業において、事業拡大及びオペレーション整備のための投資をしていることが挙げられます。

その他、セグメント間取引消去額及び各セグメントに配賦されていない全社共通費用の総額は1,444百万円（前年

同四半期比3.5%減)です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は17,408百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,588百万円増加いたしました。これは現金及び預金が2,418百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は26,275百万円となり、前連結会計年度末に比べ157百万円減少いたしました。これは無形固定資産が126百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は43,683百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,430百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は12,763百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,247百万円増加いたしました。これは1年内返済予定の長期借入金が999百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は17,862百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,925百万円増加いたしました。これは長期借入金が2,942百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は30,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,172百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は13,057百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,741百万円減少いたしました。これは自己株式が1,682百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期連結業績予想につきましては、2026年2月13日の「2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表しました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,575	10,994
売掛金	3,042	3,514
商品及び製品	455	305
仕掛品	149	71
未収入金	1,881	2,093
前払費用	533	459
その他	235	28
貸倒引当金	△53	△59
流動資産合計	14,820	17,408
固定資産		
有形固定資産	609	613
無形固定資産		
ソフトウェア	374	374
のれん	12,861	12,923
顧客関連資産	9,312	9,149
技術資産	365	350
その他	340	328
無形固定資産合計	23,254	23,128
投資その他の資産	2,567	2,533
固定資産合計	26,432	26,275
資産合計	41,252	43,683

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	443	428
1年内返済予定の長期借入金	3,786	4,786
未払金	2,570	2,902
未払費用	414	415
契約負債	2,306	2,226
預り金	937	972
未払法人税等	244	199
その他の引当金	114	121
その他	697	710
流動負債合計	11,516	12,763
固定負債		
長期借入金	12,299	15,242
繰延税金負債	2,563	2,559
その他	74	60
固定負債合計	14,937	17,862
負債合計	26,453	30,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	47	47
資本剰余金	12,217	12,216
利益剰余金	7,576	7,513
自己株式	△4,843	△6,526
株主資本合計	14,998	13,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△224	△224
為替換算調整勘定	26	29
その他の包括利益累計額合計	△198	△194
純資産合計	14,799	13,057
負債純資産合計	41,252	43,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	8,140	10,189
売上原価	3,321	4,584
売上総利益	4,819	5,604
販売費及び一般管理費	4,940	5,672
営業損失(△)	△121	△67
営業外収益		
受取利息	8	10
受取和解金	206	156
その他	26	45
営業外収益合計	242	213
営業外費用		
支払利息	41	50
業務委託料	47	16
株式報酬費用消滅損	8	2
その他	18	15
営業外費用合計	115	84
経常利益	5	61
特別利益		
関係会社株式売却益	155	—
事業譲渡益	48	—
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	204	0
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産廃棄損	—	0
段階取得に係る差損	—	47
特別損失合計	1	48
税金等調整前四半期純利益	207	13
法人税等	283	76
四半期純損失(△)	△75	△62
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△75	△62

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純損失(△)	△75	△62
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△12	3
その他の包括利益合計	△12	3
四半期包括利益	△88	△58
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88	△58
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

当第1四半期連結累計期間において、2025年2月14日開催の取締役会に基づき、自己株式400,000株を1,186百万円で取得しております。

また、非支配株主との取引に係る親会社の持分変動により資本剰余金が439百万円減少しております。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本剰余金が13,734百万円、自己株式が1,782百万円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

当第1四半期連結累計期間において、2025年11月14日開催の取締役会に基づき、自己株式862,200株を1,709百万円で取得しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、自己株式が6,526百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	人材プラットフォーム事業	医療プラットフォーム事業	新規開発サービス	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,508	2,211	342	8,063	—	8,063
その他の収益	—	77	—	77	—	77
外部顧客への売上高	5,508	2,289	342	8,140	—	8,140
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	—	1	△1	—
計	5,509	2,289	342	8,141	△1	8,140
セグメント利益又は損失(△)	1,331	197	△154	1,375	△1,496	△121

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,496百万円はセグメント間取引消去額及び報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(資産の著しい増加)

当第1四半期連結会計期間において、アクシスルートホールディングス株式会社を連結の範囲に含めております。「医療プラットフォーム事業」においては、アクシスルートホールディングス株式会社の株式取得に伴い発生したのれん、識別した無形固定資産が増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社ASFON TRUST NETWORKを子会社化しております。当該事象によるのれんの増加額は「新規開発サービス」で1,070百万円であります。

また、アクシスルートホールディングス株式会社を子会社化しております。当該事象によるのれんの増加額は「医療プラットフォーム事業」で5,187百万円であります。なお、当該事象によるのれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	人材プラットフォーム事業	医療プラットフォーム事業	新規開発サービス	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	7,031	2,787	266	10,085	—	10,085
その他の収益	—	104	—	104	—	104
外部顧客への売上高	7,031	2,891	266	10,189	—	10,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	0	△0	—
計	7,031	2,891	266	10,189	△0	10,189
セグメント利益又は損失(△)	1,709	△168	△163	1,377	△1,444	△67

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,444百万円はセグメント間取引消去額及び報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	257百万円	272百万円
のれんの償却額	266百万円	356百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。